

# 千葉県国土利用計画地方審議会第5回国土利用計画調査検討部会 議事録

開催日時：平成29年7月21日（金）  
午後10時00分から12時00分  
開催場所：ホテルプラザ菜の花  
4階 楨1

司 会	<p>定刻になりましたので、ただいまから千葉県国土利用計画地方審議会第5回国土利用計画調査検討部会を開会いたします。</p> <p>私は、本日の司会進行を務めます、政策企画課地域政策班の佐藤と申します。</p> <p>よろしくお願ひ申し上げます。</p> <p>それでは、お配りしております資料を確認させていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 会議次第</li><li>・ 出席者名簿</li><li>・ 座席表</li></ul> <p>資料1 第5次千葉県国土利用計画・土地利用基本計画の骨子（案） 資料2 五地域区分の重複する地域における土地利用に関する調整指導方針（案）</p> <p>参考1 第4次国土利用計画の評価（案） 参考2 千葉県国土利用計画地方審議会国土利用計画調査検討部会設置要綱</p> <p>以上でございます。配付漏れはございませんでしょうか。</p> <p>なお、本部会は、お手元に配付してございます設置要綱第8条に基づき、公開することとされております。また、部会の議事概要につきましても後日公開する予定ですので、ご了承願ひます。</p> <p>では、早速ではございますが、次第にしたがいまして、議事に移らせていただきます。</p> <p>ここからの会議の進行につきましては、千葉県行政組織条例第33条第7項で準用する第32条第1項の規定によりまして、部会長に願ひしたいと思います。池邊部会長よろしくお願ひいたします。</p>
池邊部会長	<p>それでは、早速議事に入りたいと思います。</p> <p>はじめに、本部会への「報道関係者」及び「傍聴者」の参加について確認します。本日の部会に、「報道関係者」及び「傍聴者」は参加していますか。</p>
司 会	<p>本日は、報道関係者の方及び傍聴者の方もいらっしゃいません。</p>

池邊部会長	<p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>今日は第5回ということで、前回千葉らしさとか、土地利用とはいえども、県がどういう方向の土地利用を目指していくのかということは、県民のライフスタイルですとか、あるいは、県民の人口を増やしていくとか、千葉の魅力をどうアピールするかとか、あと産業をどう振興していくかというようなことにも関係するのではないかという議論がかなりありました。今日の資料は大分反映して作っていただくということで御用意していただきました。</p> <p>それではさっそくではございますけれども、本日の議事、資料1の第5次国土利用計画・土地利用基本計画の骨子(案)、資料2の五地域区分の重複する地域における土地利用に関する調整指導方針(案)を一括で御説明していただきます。事務局からお願いいたします。</p>
事務局	(説明)
池邊部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今聞いていただいたように、前半は項目で読むと、日本全国の課題のような形がどうしても残ってしまっているのですけれど、後半の「県土利用の基本方針」や「利用区分に応じた基本的な方向性」、また「計画の実現に向けた措置」のところで、かなりそれぞれ千葉県らしい取組みを入れていただいたと思うのですけれど、今日は三段階くらいに分けて議論させていただきたいと思います。</p> <p>最初は、この部会は各分野を代表して来ていただいていますので、今回の記述で、それぞれの御専門の立場から、記載の漏れとか、課題ですとか、これからの県の各部門で別途いろいろ進められていると思いますので、例えば政策等の合致、これは十年ですので、できているかということと、それと二番目は、それに係わる今の調整方針、二つ新しいところが提示されましたけれども、それがこれでよいか、また、現行のものをそのまま行くというところを含めて、この新しい資料2の二枚目のところでいいかどうかということなのです。あと、最後にはゾーン別のところを、あまり今までは個別にできませんでしたので、そのあたりの内容について、検討していただきたいと思っております。</p> <p>それでは、最初に各分野からということで。大江委員、農業についてお願いします。</p>
大江委員	<p>私の担当分野は農業ですが、書いてあること自体はかなり総論的な話なので、特に見えていませんということはないのですが、しいて言えば国土利用計画なので、産業振興計画とあまりぶつかりあってもいけないと思うので、その辺はかなり意識されて書いていると思うのですが、県の農業振興計画はこれから見直しに入ると思うのですけれど、その点で齟齬がないように整合的に取っていただくことを留意いただければいいと思います。</p> <p>国土利用計画は総論的な枠ですから、振興計画と整合性を取るという</p>

事務局	<p>認識はいただきたいのですけれど、時期はずれていますので、その点を留意していただければと思います。</p> <p>あと、簡単な質問なのですけれど、平成37年度までを対象にするということで、10年より短いのですよね。それは何か理由があるのですか。</p> <p>全国計画で、国の方の計画が2025年、平成37年となっていて、もし10年間ということであれば、その前から千葉の方で、やらなくてはならなかったのですが、趨勢を見極めながらという意味もあったかもしれませんが、策定が去年あたりからスタートしているところがございまして、この形になっているのです。場合によっては10年というのもあり得ると思うのですけれど、とりあえずその前後ぐらいに合わせて書かせていただいているところでございます。</p>
池邊部会長	<p>どの計画も、一応10年とは言うけれども、基本的には間で割り込んで改定を進めていますので、これも委員が言われたように農業の方も変わっていけばそれに合わせて変わっていかなければならない部分もあると思いますし、今の社会の進み方から言うと、本当は5年ぐらいでもいいのですけれど、達成するという意味からするとこんなものかなという気がします。</p> <p>農業の方はこれくらいでよいでしょうか。森林について、志賀委員お願いします。</p>
志賀委員	<p>森林に関しては6ページの基本的な方向性に項目があるのですが、後ろの方で実現に向けた措置ということで、書いていますよね。そうすると、ここでは結構オーソドックスなことが書かれているのだけれども、後ろでもう少し今回の特徴みたいなものが出てるので、それとのすり合わせで若干頭出し的な、ちょっとそういうニュアンスが入った方がいいかなと、森林項目では感じました。</p> <p>それからもう一点、所有者不明の記述があるのですが、これに対しては、後ろの方ではいろいろと注釈が書いてあるのですが、前の方の注釈がまだ突っ込んでいない部分があって、それは加えるんだろうと思うのですが、特に森林に関しては、農地以上に所有者不明が全国的にあって、今後すごく大きな問題になってくると思うので、その点は前の方でも書いていいんじゃないかと思います。</p> <p>あと、森林だけの話ではないのですが、全体の中で一点だけ感じたことがあります。基本方針のところ(1)の①都市構造の形成ということで都市の②農村地域ということで書き分けになっているのですけれど、すごくそれは分かりやすいんですが、今の時代ではそれほど関係性なり、それを各地域に落としたときに様々な都市と農山村のタイプみたいなものがある、それで後ろの地域構造みたいになっているということだろうと思うので、ちょっとその辺の関連性みたいなところを考えるとどうかという気がしました。</p>

池邊部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>特に千葉県の場合は都市部と農村、森林地域が混在しているということと、方向性としても両方を各地域が目指しているというような部分もあるので、必ずしも都市だけ、あるいは農山村地域という形だけで分けられない部分もあると思いますし、また、今後のいわゆる今の計画の話としてもそこが両方の側面から連携した部分を施行しているというところがありますので、そのあたりを少し整理する必要があるかと思えます。</p>
志賀委員	<p>千葉県の県土の特徴というまとめがあって、これは今まで言っていたことがうまくコンパクトにまとめられているので感心したのですが、それが都市と農山村の関係の中でどういうふう千葉らしく生きてくるのかという観点が入るといいと思います。</p>
池邊部会長	<p>まさに前回の議論を経て、大分補強していただいたので、そのあたりが措置の方にはすごく反映しているのですが、その間が少し抜けているということでした。</p> <p>では岡委員お願いします。</p>
岡委員	<p>前回、前々回でお話したことが、前半にはとてもよく盛り込んでいただいて大変いいと思います。千葉県の場合、あくまでも今ある二次的な自然をどのように県民の豊かさに取り込んでいくかという部分と、首都圏にある千葉県の自然の役割がよく押さえられていると思います。後ろの方とちょっと絡めてお話させていただきたいのですが、一部で捉え方の矛盾が出てきているのが、7ページの「地域ごとに目指す方向性」というところで例えば、(3)香取・東総ゾーンの中で、言葉が不足していらっしゃるから私が理解できないのだと思いますが、下から三行目の「大規模経営体等の育成、太陽光発電等の展開の場として発展可能性」というところと、例えば森林を伐採して太陽光発電が急に民家の目の前にできてしまったとすると、そこに住んでいらっしゃる住民の方がこの発電施設でハラスメントを受けることになってしまう。森が好きだったけれども、そこに突然太陽光パネルができて、それがさらに例えば10年、20年ぐらいで売電価格が抑えられ、それが廃棄されると次に土壤汚染という環境問題へ展開していくことは恐らく時間スケール的には目に見えていること。ですから、この「太陽光発電等の展開の場として発展可能性」は恐らく文字が大幅に抜けていると思います。</p>
事務局	<p>総合計画で今書いてある地域の特徴と方向性は、あまり負の側面が書かれていない状況になっているので、ここに落とし込むときはまさに基本方針で掲げ、政策で言っているような太陽光発電施設を設置する際に自然環境とか土地利用に配慮をすべきということは書ければ書きたいと思っております。</p>

岡委員	<p>ここは例えば千葉県全体が香取・東総ゾーンで地域エネルギーが不足しているから、エネルギーを作りながらその中で回そうと。例えば北欧などはそうなのですけれど、小さな村の中で風力発電、太陽光パネルもあったりして、そのエリア内でエネルギーを回そうとしているのが見えるんですけれど、千葉県もそういう状態になるんですか。</p>
事務局	<p>そういうことではなくて、土地が面積的に使いやすいとか、そういう意味なのではないかと私は理解しているのですけれども、そういう分散型のエネルギーがいろいろなところでやるとかそういう話ではないと私は理解しています。なので、土地があるから何でもかんでも太陽光パネルを設置するのではないということを、こういうところでも盛り込めればいいと思っているのですが。この発展の可能性のところは総合計画の担当に聞いてみようと思います。</p>
岡委員	<p>ぜひそういうふうにしていただきたいと思います。</p>
池邊部会長	<p>総合計画に書いてあるということで、入れなければいけないとしたら、今おっしゃられたように自然環境への配慮だとか、計画的な導入だとか、今はほとんど無計画に民間の狙いで入れられてしまっているの、少し計画的に入れるという話が、ここに書くのであればそのような配慮が必要であると思います。</p> <p>他にはありますか。</p>
岡委員	<p>少し細かいところで用語の使い方、たとえば一番後ろの10ページ、「アダプトプログラム」というのが、一般にあまり馴染みがないと思うのですが。</p>
事務局	<p>河川敷とか堤防の除草を協力してもらおうとかインフラの維持管理について住民の方が携わってもらうことについては、いわゆるアダプトプログラムという呼び方はあるのですけれども。</p>
事務局	<p>維持管理への参画。</p>
池邊部会長	<p>ごみを拾うとか、企業のCSR、あるいは地域の方々と連携してとかです。</p>
岡委員	<p>一般の方々になじみやすい語彙に置き換わりませんか。</p>
事務局	<p>そうですね。もう少し考えます。</p>
池邊部会長	<p>維持管理だとか、活動という形で入れていただいた方が。</p>
岡委員	<p>それともう一つその下の、グリーンブルーリズムでグリーンツー</p>

	リズムは既に馴染んでいますけれど、ブルーは青い空、青い海ですか。
事務局	漁村の方、海の方だと思います。
池邊部会長	千葉県の特徴です。
岡委員	これは根を下ろしたいキャッチフレーズですけれども。
池邊部会長	急にここだけに出てくるからですよ。前半くらいから出てくれば。
岡委員	③のサブタイトルは「漁村」が入るから海の方に繋がるかもしれないですね。
事務局	そうですね。
岡委員	そうすると本文中に海の一文字をどこかに入れていただくと分かるかもしれませんね。
池邊部会長	土地利用のことなので、あまり海洋のことは触れられていないので難しいと思いますけれど。
事務局	あまりにも大々的に掲げすぎると、漁村とか海のことはあまり出てこないで、難しいのもありますが。
池邊部会長	港湾整備をするわけでもないで、そのあたりのインフラ整備があるわけでもないで。
事務局	特徴のところで、海というか九十九里浜のことは書いたのですが、そういう雰囲気盛り込めればと。
岡委員	これは定着させたい言葉なのですね。
池邊部会長	そうですね。 それでは土地問題のところをお願いします。
中村委員	今回すごく良くまとまっていて、いつも読んでいるうちに雲掴むような感じでよく分からなくなってしまうのですが、今回はなるほどという形で読み進めることができました。かなり御苦勞なさったのではないかと思います。ありがとうございました。 いくつかございまして、まず、「道の駅を中心に」というのが今回かなり出てきて、これは本当に道の駅を中心に地産地消ですとか、農産物の活性化にいろいろ活用されると思いますので、これを多用してくださったのはいいことなのではないかと思いました。

	<p>そして、所有者不明土地なのですから、空き家バンクというのを全国の自治体でやっていて、これがうまく宣伝されていないのではないかと。この中でも一言も出てこないですし、NPO法人ですとか、各自治体でやっているところが千葉県でも南の方にはかなりあるのですけれども、一言も触れられていないので、せっかくやっつけらっしゃるのに、ホームページにちょっと掲げている程度で触れられていないのはすごくもったいないと思うので、それこそこの空き家をなくすとか、そういうことに関連してくるものではないかと思うので、そういうのと所有者不明土地をどうやって空き家バンクみたいなものに流していったら、そこで再利用していく、欲しい人の手にどうやって渡していくかというのをもう少し盛り込んだ方がいいのではないかとちょっと思いました。</p> <p>それと、調整区域なのですから、私はいつも仕事をしていて思うのですけれども、この場所にどうして調整区域があるのかなという場所が確かにあるのですね。どうして駅から徒歩圏内にあるようなところに調整区域があるのかとか、ここが調整区域なのかと見るところがあるのですけれども、調整区域は市街化を抑制するべき土地なのですから、その場所を見直すというのやはり必要なのではないかと思います。もしそこに何かを建てたくないということでしたらそこは公園にするとか、調整区域ではなく、他の利用形態、人々が集まれる場所にするとか、建物を建てないということでしたらそういうふうな利用形態にした方がいいのではないかと思います。今現在、確かに調整区域の規制が緩い、それは市町村によって違うのですけれども、調整区域内の道路が多いくらいなんですね。道も調整区域に建つ住宅地の方が広くて、建物が新しく、やはりきれいなのでどうしても人々がそちらの方に流れてしまうという側面があるのですね。それは乱立している部分については調整していかななくてはならないと思いますが、それと同時に今回触れただいた大規模団地、高齢化率50%というところも結構ございまして、そういったところでどうやって若い人を呼び込むかというのをちょっと考えていかなければいけないのかなと、どうやって世代交代をうまくさせていくのかなというのをちょっと盛り込んでいただいた方がいいと思いました。</p> <p>あと、質問がございまして、6次産業化というところで、前回の資料ではワンストップ支援窓口の設置というのが書かれていたのですけれども、今回は書かれていなくて、このワンストップ支援窓口というのは何なんなのだろうと。</p> <p>事務局 まず、書いていないのは骨子なので、いろいろ文言を削除した結果、そうなっているだけですけれども、農林部の方が詳しいと思いますが、6次産業化を農家の方が進めるにあたって、いろんな相談ができる便利な窓口を一つ設けるとい趣旨です。</p> <p>農林水産 政策課 販売までをにらみますと、いろんな段階、生産から加工、企画もありますし、販売までありますので、いろいろ縦割りで各部局でということ</p>
--	---

	<p>ではなくて、ワンストップで相談できるようにするという事です。</p>
中村委員	<p>今実際に動いていらっしゃるということですか、これから立ち上げていこうということですか。</p>
農林水産 政策課	<p>担当課としてはありますけれど、これからいろんな連携を強化していく必要があると思っています。</p>
池邊部会長	<p>調整区域の話は調整指導方針にも反映するという事ですか。</p>
中村委員	<p>そうですね。基本的に調整区域に住宅が多く建っている現状を見ますと、やはり調整区域でも住宅適地と言いますか、良い場所があるので、時代に合わせて区域を見直した方がいいのではないかと思います。</p>
池邊部会長	<p>逆線引きをするという意味ではなく？</p>
中村委員	<p>逆線引きをされて調整区域になったところもございまして、今まで市街化だったものが逆線引きをされて調整区域になって、いきなりそこには建物が建てられなくなってしまったという地域もありまして、そういったところは調整区域だから禁止してしまうというのは、もったいない気がするのですよね。</p> <p>調整区域という意味が、市街化が乱立していて、それを抑制しなければならない地域ではあるのですけれども、発展すべき土地を抑制してしまうのはどうなのかなと個人的には思うので、区域の見直しを適宜時代に合わせてやっていった方がいいと思います。</p> <p>今の調整区域は昭和40年代、50年代と古いので、今の時代に合わせて見直していった方がいいと感じます。</p>
池邊部会長	<p>市街化調整区域の逆線引きという部分もあるけれども、逆に今の市街化調整区域の中で宅地化、都市地域に入れるべきところもあるのではないかなという見直しの議論。</p>
中村委員	<p>市街化区域の中に調整区域にした方がいい場所もあるでしょうし。</p>
池邊部会長	<p>千葉の場合、おっしゃるようにそういうところでのスプロールというか、特にそこに若い方々が新しいハウスメーカーの家でたくさん住んでいるという部分もあると思いますし、そのあたりの分配を5年から10年で、今後どうなっていくのかということも含めて。</p> <p>ゾーン別に入る前に私の方から「③歴史・文化に根差した良好な景観維持の保全・形成」というところが前半と9ページに出てくるのですけれども、この辺は歴史・文化だけではなくて、まさに農山漁村とか、あるいはリゾートもありますので、そういう豊かな自然環境と歴史文化ということの両面を入れていただければいいと思います。</p>

	<p>前半では自然や農地が良好な景観の資源であるというような部分も歴史だけではなくて入れていただくということで、後半は景観計画だけしか入っていないのですけれども、千葉県では歴史的な街並みが結構たくさんあるのですけれども、歴史まちづくり法の歴史的風致維持向上計画があまり立てられていないというところが多いので、そこを立てていただくと、劇的に観光客が増えるというのを国交省の方でたくさん統計を出していますので、そこを入れていただくのと、日本遺産とかそういう部分もあるので、ここで観光客の増加を見込む話、ツーリズムの話を入れていただけるといいと思います。</p> <p>それでは具体的に、調整指導方針の方は先ほど中村委員から調整区域についてありましたが、他の区域についてはいかがでしょうか。</p> <p>「新しく都市的な利用を抑制する」というところを入れていただいておりますが、どうでしょうか。</p>
志賀委員	<p>まず、基本的な御質問なのですが、これをこう変えることによって行政的にどう変わってくるのかどうかというのは。</p>
事務局	<p>なかなか難しいところではあるのですが、国土利用計画に即して土地利用規制することになっていきますので、市街化調整区域はそもそも開発を抑制するところなのですけれども、それを改めて抑制するというところで、開発許可の条件が法定されていますけれども、そこを原則不許可だと言って、その他、開発審査会が認めればいいというところも結構あるのですけれども、そういう雑多な運用のところでは開発を抑えていけるようなことを若干狙っているようなところもあり、ただ、市街化調整区域そのものが元々抑制するところですので、それを改めて言うに過ぎないというところは確かなのですが。</p>
志賀委員	<p>そういうことでよいのですが、森林地域に関して、市街化調整区域のところを前と変えて森林地域としての利用を優先してということ自体に異論はないのですけれども、市街化調整区域みたいなところに森林として残っているというところはあるんでしょうけど、その森林地域としての利用という中身で、例えば改めて森林形成をやるということではないと思うのですよね。森林としてあるところをいかにその地域の空間形成の何なりとして、森林地域として活用していくという意味で、こういう積極的な意見を示しているというのは、すごく意味のあることだと思うのです。ただそのところで、従来の森林の開発が放置されて蔦が絡まっちゃってという形になってたというところで、そこはどちらかというと森林行政の方もあまりそこに林野庁の補助金が入って作業するというでもなく、放置されていたし、そこをどんな形で保全などやっていくかというのを検討していかななくてはいけないのかなと。</p> <p>それからもう一点、森林地域と自然公園地域と自然保全地域で丸くなっていて、これ自体についてはい今までどおりということで問題はないのですけれども、千葉県の自然公園地域というのは原生的な保全みたいな</p>

	<p>ことではなくて、自然再生とかいろいろな形で人間臭いところの中で、自然公園としての活用と森林地域としての折り合いをつけていくということ。それ自体はいいと思うのですけれど、今までの自然公園の方と森林の方の行政というのはそういうところの連携というか横断的な取り組みとか、生物多様性の問題に対してもそうだし、景的なことに対してもそうだしということで、それに対してここに書かれているようなことを実際に進めていくときに、県なり行政の中での連携が、これを機会に進めばいいと思います。</p>
池邊部会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>千葉県は特に三つの地域区分とか、下手すると四つの緩やかな地域が重複しているようなところがあるので、それをどう調整するかという話の中で、今お話のあったように、現況の土地利用を活かした区分として、森林として残っている地域であれば、それを優先するということであって、新しく植えるということではありません。ただ、やはりそこら辺を優先していかないと先ほどの話ではないですけど、開発が進んだり、太陽光ですとか、所有者不明土地の部分も含めてですけど、せっかく不法投棄がなくなった部分があるのでですけど、そういうものに活用されてしまったりということもあるので、あくまで不可逆的なそれぞれの土地利用を活かすということやっていただければと思います。</p> <p>今のところで岡委員、自然公園のあたりは何かありますか。</p>
岡委員	<p>自然公園が現状では、住民にとって、あるいは近隣住民にとってあまり活かされていないので、それを魅力的な自然公園に変えていくということがとても大事だと思います。</p> <p>あと、自然公園は人間が利用させてもらう、人間が自然を享受する場所で、自然保全地域の役割はまた違いますけれども、志賀委員がおっしゃったように千葉県の場合は二次的な自然の中で、自然を再生する場所と、人間が楽しむ自然公園でもう少し仕掛けが必要だと思います。</p>
池邊部会長	<p>それはそうすると誘導方針に盛り込むというよりはこちらの文言の方で盛り込むということで。</p>
岡委員	<p>そうですね。あと、中村委員がおっしゃった市街化調整区域ですけど、昭和40年くらいから線引き化されて、それが例えば、新駅ができたりすると再編成されていくべきだろうと思いますが、都市型災害を生むような地形的な制約がある場所では、調整区域を残し開発を抑制するような細かい方策があってもよいと思います。</p>
中村委員	<p>千葉県は市街化区域と調整区域に線引きしている地域はあまりなくて、調整区域があるのは千葉よりも東京寄りというのがほとんどです。なので、森林地域はあまりないのではないかと思いますのですけれど。</p>

志賀委員	それは調整区域の中の森林地域ですね。たぶんそれがどういう形でどうあるのかというの、林地台帳を作り出すとあるのでしょうかけれども、市町村にとっても流山あたりの森林もそうだけれど誘導性としての対象というのは思いつきます。
岡委員	昭和40年代の調整区域をかけられたところは、宅地開発などでスプロール化された時代のなごりです。農村部に急に小さな住宅ができてしまって、じゃあ学校はどうするのかなどなど、他にも多くの問題が出てくるため、そうしたエリアの開発抑制は、私は正しいやり方だと思います。ただ、時代に合わない部分もエリアによっては出てきているかもしれません。
池邊部会長	<p>県が国土利用と土地利用を考えるとということは、都市地域が地域のない農村部の多い所に一番有効なことだと思うので、今日はまだできませんけれども、ゾーンごとの利用区分に応じた規模の目標あたりが、今までは国土利用計画の中では人口が増えないのだけれども、増えるという何十年か前のものに基づいて、都市地域、宅地として規模ができていたりする部分もあるので、その辺の見直しというのが出てくると、それぞれの市町村でも改めて考えなければいけない部分になってくるかと思っています。</p> <p>そこが県の方がそういうふうにするという方向性を出すと、初めて市町村の方でも手を振ってそういうことができるのですけれども、今だと何で自分の市町村だけ宅地が減るんだという話になってしまうので、難しいのですが、そういうところには都市マスとかが作られているわけではないので、非常に調整が難しいところなのですけれども。</p> <p>では調整指導方針は事務局が出した提案ということでよろしいでしょうか。</p>
委員	ー異議なしー
事務局	また骨子も含めて各部局と調整したいと思います
池邊部会長	<p>はい。今日のところはということで、規模の目標などはまた後で。</p> <p>そうしましたら、「地域ごとに目指す方向性」のところではどうでしょうか。先ほどの香取・東総ゾーンの太陽光発電のところが一応問題点ということでしたが。</p> <p>やはり南房総も人口減少と高齢化が一番激しい所なので、香取・東総も結構人口減少がありますし、そういうところで太陽光発電みたいなものも出てきてしまうと思うのですが、そのあたりはいかがでしょうか。これは具体的なリゾートで使われていたところが、移住先として転化させるというような事例も既に出てきているのでしょうか。</p>
事務局	リゾートが使われなくなってそれを利用するというのでしょうか。

<p>志賀委員</p>	<p>リゾートかどうかは別として、空き公共施設のようなものが結構あって、それをベンチャー企業とかを呼び込もうという活動は、やっているというのは聞いています。</p> <p>さっき言ったことと重なるかもしれませんが、こういうゾーンごとの特徴があるということは分かるし、これでいいと思うのですけれど、これが、千葉県全体として、いかに魅力的なものにし得るのかとか、あるいは国際的なところでの繋がりとか、首都圏の中でのネットワークとか物流とか、非常に千葉はユニークなというか、それで産廃なども捨てられるのでしょけれど、それでこういう地域性なりゾーンなりができてるので、千葉県の県土の特徴との関りでは今後10年間でどういうふうに戦略的にやろうとしていくのかというような、県の方針というか見方が出るというのと期待したいと思います。</p>
<p>事務局</p>	<p>確かに今策定中の総合計画に乗っ取って、このゾーンを一律整理してあるのですけれど、総合計画の策定作業の中でも、御指摘のありました地域の個性が異なると、それぞれに特性があるということは、計画の中でも活かしていかななくてはいけないという方向で整理しておりますので、そういった部分をこの国土利用計画の方でもうまくそのエッセンスを盛り込めればと思っています。</p> <p>国土利用計画を作っているのは別のグループが、地域の方向性を整理しているところですが、総合計画は4年ごとに見直していた中で、たった4年間の中でも、地方創生という掛け声もあると思うのですけれど、それぞれ地域の個性が際立ってきたので、先ほどおっしゃった景観や日本遺産に登録とか、皆さんが自分の持っているものを活かしていこうということがすごく高まっていますので、そういったものが千葉の強みになっていくというのは、私たちも総合計画で反映していますので、そういったところをまた土地利用の観点から県民の豊かな暮らしを支えるという部分でうまく書き込めていければと思っています。</p>
<p>志賀委員</p>	<p>「(4)多様な主体の交流・連携・協働による県土の支え合い」が出ていて、これが先ほどの話との関連で、やはり市民参加的なものからもう少し、EUの地域政策を見ても地域活性化の中で分野横断的な連携の中でしか地域の活性化はなかなか回らないみたいな形になっているのだと思うので、千葉でいろいろな主体がそれぞれの地域であって、それが千葉県全体として連携・協働していくみたいな中で、どういうものが将来生まれてくるのかというような視点があるといいと思います。</p>
<p>池邊部会長</p>	<p>そこはたぶん千葉は地域がありすぎて、なかなか協働が難しいのだと思いますけれど、例えば、群馬は最近養蚕、まさに富岡があるので、全体的に県として動いていたりしますけれど、静岡も世界遺産絡みで、今まで静岡と浜松が別々だったのが、少し協働したりという部分がありますので、そのあたりがもう少し、交流というのが都市と農村の交流では</p>

	<p>あるのですけれど、地域全体としての融合としての地域力みたいなものを活かすというのが、今まであまり出ていない。あと、空港があっても基本的にはスルーされてしまっている部分がまだまだあるので、その辺がどういうふうに空港や圏央道のゾーンがあるところが、どういうふうにその他のゾーンと関係していくかというあたりですね、ここでどう書くかというのは志賀委員がおっしゃるとおり難しいのですけれども。</p> <p>ちょっと論点が違うのですけれども、「所有者不明土地の増加への対応」というのはすごくいい項目ですし、ここに書かれていることはオリジナルとしてはとてもいい政策ですし、これがまさに産廃の方が40分の1になったのだとすると、所有者不明土地が少なくなるということはたぶん千葉としての強みになると思うのですが、このあたりまで書いても予算が確保できるかとかそういうそっちの方に繋がっていけばいいという感じぐらいですかね。</p>
事務局	<p>今はまだ端緒というか国も動き出しているところですので、これを基に進んでいければという感じです。</p>
池邊部会長	<p>日本は地籍もだめだといったところが国の土地利用の一番の弱みですので、ここだけでも。</p> <p>中間管理機構も国として動いてきていますので、具体的なものとしてはここ3年くらいで動いてくるのかなと思います。</p>
中村委員	<p>南房総ゾーンの高齢化率が高いというのと、香取・東総ゾーンの高齢化率が高いというのは、意味合いの数が違って、南房総ゾーンは別荘とかを増やしていこうと動いていて、どちらかというよりタイアなされた方が住むというのも含めて、高齢化率はさらにこれから高くなっていくのではないかと思います。それは決して悪いことではなくて、そういう政策でそういう誘導でやっていくので、なので同じ書き方だと、高齢化率が高いということイコール、空き家が増えていく、みたいな悪いイメージが出てきてしまうのですけれども、そのゾーンで言うとたぶん高くなっていくのではないかと。別荘地に移住、永住する方は、若い方は来ないと思うので、そういう方々が住みやすい、今道の駅とかも結構できそうですし、そういう住みやすい場所という意味では、この書き方はマイナスのイメージにしかならなくてどうなのかなと思います。</p>
事務局	<p>元にした総合計画自体が現状を厳しく見つめ、それに対してどういう方向性に持っていくかというのを圧縮するとこういう形になってしまうのですけれど、総合計画の中でも確かにアクティブなシニア層の人たちを積極的に来ていただいて、地域でまた活躍していただく視点もありますので、一口に高齢者と言っても多様な高齢者がいますので、そこら辺はうまく伝わるように整理していきたいと思います。</p> <p>CCRCとか医療的などところも用意して迎えようとしています。</p>

池邊部会長	<p>一時期は南房総の方は買い物難民とか医療難民が両方発生したのが問題になったのですけれど、そこを打開すればそういう方々に来ていただいてもいいんだろうと思います。</p> <p>後ろの方には都市部に暮らす人々の移住先としてというふうに書いてあるんですけれども。</p> <p>香取・東総はまだまだ伸びて、まさにここに「農林水産業の一大拠点」と書いてありますけれども、そのあたりで高齢化が進んでいるところと、全体の状況は違うのだろうと思います。</p> <p>これは中村委員、南房総ゾーンの一行目が「人口減少が続き、最も高齢化率の高い地域」というのがネガティブですかね。</p>
中村委員	<p>そうですね。確かに人口も減少してますし、高齢化率も高くなっているのですけれども、勝浦ですとひな祭りとか呼び込む工夫も各地でなさっていると思うので、実際にちょっと南国風の建物が建てられていたりもします。</p>
池邊部会長	<p>ここは少しそのあたりを補足していただくということで。</p>
中村委員	<p>首都圏からすごく近いリゾート地なので、ここはもう少しくまくアピールした方がいいと個人的には思っているので、海もきれいですし。</p>
池邊部会長	<p>そうですね。伊豆とかに比べると、そういう需要が今まで少なすぎたという感覚はありますよね。</p> <p>その辺、各市町村ではテコ入れはしてますけれども、県としてはという感じはあまりないのですかね。</p> <p>さっきのグリーンブルーツーリズムみたいなもので入ってきているのでしょうか。</p>
事務局	<p>県としても宣伝したりして進めていくということだと思います。</p> <p>ちょっとずれているかもしれませんが、二地域居住的に使っていただきたいとか、地域の移住政策でもちょっと注目しているところです。まずお試しで住んでいただいて、土地のことを知っていただいて、ゆくゆくは移住していただけたらと。</p>
池邊部会長	<p>そうするとゾーン別の方は、さきほどの志賀委員の宿題としてどう盛り込むかというのは、それは地域ごとという連携を取るというのは入るのか、それとも各ゾーンのところに他の地域との連携みたいなものを書くのか、どうでしょう。</p>
志賀委員	<p>連携というか、流山に生まれた時から住んでいる原住民なのですが、千葉全体の他の地域との関連性というか、東京に通勤電車で行ってというような感じで、生活としては県民なんだけどそういう感じで、そうい</p>

	<p>う中で千葉県全体としてはこういう地域があつて、それぞれ特徴があるというのは分かるんだけど、この中で千葉のアイデンティティなり、どういう方向で千葉は、南関東の中で一番土地面積としては広いんだけど、そういうのも実感できないとか、千葉のいろんな意味での良さというか、県民として享受できてないというところがあるんだと思います。そういうところでそれなりに千葉に誇りを持ちたいのはあるのだけれども、それをどんな形で、空港もあるし、南房総はきれいだし、圏央道は便利だとかというのはあるのだけれども、そういうところで県としての何かがあつたらいいと思います。</p>
池邊部会長	<p>それは切実かもしれませんね。</p> <p>私も千葉大で大江委員と両方松戸にいますけど、私も西千葉で育った人間ですから、同じ千葉大でも地域が違うと全然違うというところがあつて、そういった意味では全体として千葉の良さというのを享受して、誇らしく思う、どこかに誇りみたいなものを入れていただいていたと思うのですが。</p>
志賀委員	<p>他の県と違って強烈な郷土意識ではなくて、秘めたる郷土意識というか。</p>
池邊部会長	<p>そこが少しベッドタウンとして育ってきてしまったところが強くて、さっきお話した静岡とか群馬はそういうところではないので、個性が出ているのだけれども、なかなか千葉の場合は、埼玉みたいにテコ入れしなければいけないかと言ったらそうではなくて、農業などが自立しているのでその分何もしなくても今までは良かったというのもあるんだろうと思います。</p>
岡委員	<p>人間の体に例えると、千葉県は全部備えている、ゾーンに分けると、例えば香取・東総ゾーンと南房総ゾーンは毛細血管、圏央道ゾーンは動脈の役割をするのだろうなど。単にゾーン分けを表に出して書いてしまうと、例えば血液を送る役割ですという形になってしまうと、ここに誰が住みたいのだろうと思います。圏央道ゾーンにも人が暮らす毛細血管の部分が表現されないと、地価が安いから工場をたてる、物流開発するというような視点だけが優先されやすくなり、圏央道ゾーンには、地域に生まれて育っていくというような郷土愛は育ちにくくなるだろうと思います。</p>
事務局	<p>ゾーン分けというのは、総合計画に準じているのですけれども完全に市町村を切り分けてはいないのでですね。本籍になっている市町村もあり、はみ出している周りの市町村も含まれていてということで、一つの市町村でも空港ゾーンに入っていたり、圏央道ゾーンに入っていたりといういろいろな組み合わせがあるので、ゾーンを分けて国土利用とか県の発展というところに着目してしまうと、結果的に見えてしまうのが物流を</p>

	<p>発展させていきたいと思いますとか、そこが尖がった形で見えてしまうのですが、圏央道ゾーンに位置付けられた市町村であっても、他のゾーンと足がかかったところもありますので、そういった意味では暮らす人たちの目線というのは決してないわけではない部分もあります。そこら辺をどういうふうに書いていくのかというのは、なかなか難しいですが。</p>
志賀委員	<p>ですからこの中だけでというのは難しく、全体的な中でそういう意見があったなど。</p>
池邊部会長	<p>先ほど志賀委員も千葉県の特徴というところに書き込んでいただいた部分はすごく良いと言っていたのですが、これがどこにというのが見えない部分もあると思いますし、県土の特徴のところにもう少し全体が後背地と圏央道だとか空港があるとかということを活かした連携、協働みたいなものが出てくるといいのかなと思います。</p>
志賀委員	<p>それもある意味社会的な分業を地域ごとにやっていて、それなりに物流とかいろいろあると思うのですが、現状の中でも、それをさらに目指している方向に行ったときに、今のゾーンごとの特徴をどういうふうな形でしていったらというのがあればいいと思います。</p>
池邊部会長	<p>そうですね。</p>
事務局	<p>岡委員に御指摘いただいたのは、県民の皆さんがこれを見たときに感じる部分だと思いますので、誤解されてしまうのは計画として得策ではないので、そこはもうちょっと書き足りない部分とかを書き加えることでそういったイメージを緩和できる部分もあれば、きちんと丁寧に書き込んでいきたいと思えます。</p>
池邊部会長	<p>あと委員の皆様にお知恵をお借りしたいと思っているのは、先ほど中村委員からもすごく良くやっているとのお褒めの言葉をいただきましたけれども、概要になってしまふとこの辺が抜けてしまうので、どういうふうに出てくるのかというのがやや気にはなっているのですけれども。</p>
志賀委員	<p>「実現に向けた措置」というところがゾーンの次にあるのですけれども、(2)、(3)、(4)あたりに、太字になっているところはバランスが取れていて、徹底されていると思うのですけれども、そこに書いてあることが項目の見出しと今の段階ではないようなところもある気がして、そこを次回くらいにもうちょっと全体的なところとの関係でちょっと補強いただくといいのかなと思います。今の場合は、かなり象徴的な部分を入れてあるという感じがしていて、例えば「②県土の恵みに応える資源循環型の県土利用」と言ったときに、もちろん産廃の問題のようなものが千葉県の問題だとは分かるんだけど、資源循環型の県土利用と言</p>

	<p>ったときにもうちょっと広いことだと思うので、あまり広げると訳が分からなくなるので、そのバランスが必要かと思いました。</p> <p>それから、災害リスクのところも情報と工学的な手法と生態的というところでうまく網羅されていると思うのですけれども、それでも総合的に災害リスクに備えるみたいなところをもう少し補強してもいいと思います。九州などを見てると流木が、森林のことをやっている人間にも衝撃的で、切り捨て間伐でそのまま置いておいた物が流れてきたのか、貯木場から流れてきたのかですが。やはりそういう情報的な面と工学的にしっかり土木的にやらなくてはいけないところと、自然体系の管理的なところでやるべきところで、かなりやっていることは違うのだけれども、それをうまく統合的にやっていくことが重要だと思うので、その辺のところを補強されるといいと思います。</p> <p>海岸林のところは個別に入れていただいてもいいのですけれど、他のところが、茨城とかは結構越流とかもあったのですけれど、千葉は東日本大震災以降、災害が直接的には出ていないので難しいと思うのですけれど、そこを強化するということがこれからの県の強みとしては一番出てくると思いますので、ここの災害リスクのところはもう少し書き込めればいいと思います。</p> <p>「自然生態系の有する防災・減災機能の活用」のところも入れていただいているので、その辺を強化とか踏み込むとかしていただいて。</p> <p>時間がきていますので、今度は規模別のところを出していただいて、相対的に全部見ていただく形になると思うのですけれど、それは少し前にメールで送付いただくことは可能ですか。皆さんに少し見ていただいて、気になる部分とか、今日言っていた意見もどんな感じになっているかというのもあるので、知恵出しを各委員からしていただけるといいと思います。</p> <p>さきほど大江委員もおっしゃったように皆さんそれぞれの御専門として各課でも普段やっていらっしゃると思うので。</p>
池邊部会長	<p>できるだけ対応させていただきます。</p>
事務局	<p>一点よろしいですか。先ほど話したことに戻らせていただきたいのですが、7ページの「8地域ごとに目指す方向性」というものと中身が整合してないのではないかと思います。今まで前半は丁寧に私たちも話しましたし、その趣旨を盛り込んでいただいたのですけれど、7番にゾーン分けして地域ごとに目指す方向性が、例えば空港ゾーンがどうか東葛・湾岸ゾーンがどうか、圏央道ゾーンはこうとか、これはとても乱暴な配置だと思います。というのは、今日本全体が成熟した社会の中で、これを見ますと二つのエリアでは人の暮らしより高度成長エリアを目指していると誤解をされるような感じがします。</p>
岡委員	<p>地域ごとの方向性と付けたのは、地域別の概要を法律上書くことにな</p>

っております、地域割りで何か書かなければならないのと、あと県の中の施策の整合性という意味では国土利用計画と総合計画の関係をしっかりさせないといけないというのがあって、総合計画でこういうことを目指している、その観点で土地利用ではこういうことをやっていきたいと思いますというのが、この計画の目的になっているので、このゾーンごとのところもできるだけ総合計画の中で、土地利用の部分を抜き出して、今回書いてある基本方針と関連付けている形で書いているつもりではありますので、これをそのまま捨てて去ってしまうというのは県の中では難しいのですが、先ほど委員の方々がおっしゃったような全体の地域としての融合力とか地域の関係とかそういうところを前の部分で補強する形にして、どうにかメッセージとして伝わるように、冷たいイメージにしないように読めるような形にしていきたいと思っております。

岡委員

そのように配慮下さい。

池邊部会長

先ほどから何回か出ている総合計画を凝縮するということになってしまったということで現状を踏まえて書いていらっしゃる、ここに今まで書いていただいた様々な措置だとかそういう部分を少し特徴的に盛り込めるところがあれば、盛り込んでいただけるといいと思います。

あと、人間の部分まで入れていただいているというところがこれから千葉を強化していくべき部分かと思っておりますので、そのあたりも少し、ここで言う「多様な主体の交流・連携・協働による県土の支え合い」という形の一言になっていきますけれども、そのあたりももう少し引き出せばいい気がします。

やはり農業が強いです、NPOとか企業と一緒に、例えば先ほどから少しお話している静岡だと、企業の技術開発みたいな部分が強いです、割と一村一品運動みたいなので、様々な企業がそれぞれの村に入っているようなのをずいぶん前から見ているような気もしますが、そのあたりがもう少し自然保全だったり、6次産業を開発するにしてももう少しそのあたりが連携できたり、あるいはNPOのような時代ではなく、これから先限定したものではないのかもしれないけれど、そのあたりがもう少し進んでいくといい気がします。

それでは委員の方々には申し訳ないのですが、宿題というか次の数日前でも結構ですので、送っていただいたものに関して、事前に修正提案ができれば、意見として言っていただいても結構ですので、事前に御検討いただいてこんなふうに変えたらという部分がありましたらシフトしていただければと思います。そろそろまとめに入らないといけない時期ですので、皆さんのお時間をいただいてここまで来ましたので、この議論がちゃんと反映されて、骨子と概要の中にこれが十分詰まっているなというような形にできればと思っております。

あとは庁内の調整も図っていただくということでよろしいでしょう

委員	<p>か。</p> <p>他に何か委員の方々からありますか。</p> <p>ーなしー</p>
池邊部会長	<p>それでは進行を事務局の方にお返ししたいと思います。</p>
司会	<p>長時間にわたりご審議いただきありがとうございました。</p> <p>次回は8月21日午後2時からまた同じ場所で予定しておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは、以上をもちまして、千葉県国土利用計画地方審議会第5回国土利用計画調査検討部会を閉会いたします。</p>